

取組名称：能動的学習態度を醸成する臨床実習システム ～双方向性オールインワン実習手帳の開発～
取組大学：福島県立医科大学

取組概要

本取組の目的は、病院で臨床実習を行う学生の学習ポートフォリオや臨床技能の達成度を実習の過程で逐次まとめ、個々の学生に合った実習を学生と教員が話し合いながら進める実習システムを構築することである。この目的を達成するため、学生が持つ端末と大学のサーバーを双方向性に結ぶ通信システムを確立し、毎週、実習修了後に学生は自己の臨床技能の達成度を自己評価して大学に報告する。その結果をコンピューターで自動的に解析し、翌週の担当教員ならびに学生本人に大学側から報告する。この資料を基に学生と教員との話し合いで個々の学生に適した実習を計画し、遂行する。また、この通信システムを使って大学から動画による電子教科書を学生に提供し、これを自学自習することによって学習目標の理解と自身の学習達成度を適切に評価できるようにする。

取組のポイント

セキュリティを守りながら大学と学生を
 双方向性に結ぶ情報ネットワークシステムを確立し、以下の計画を進める。

- A. 個々の学生に適した臨床実習の計画と推進
- ・毎週末、学生からその週に行った実習のポートフォリオと学習の達成度を各自の端末から大学に報告させる。
 - ・翌週の担当教員と学生本人に学習達成度を示すレーダーチャートを送信し、それを基に学生と教員が話し合っって実習内容を計画し、実行する。
- B. 電子教科書
- ・教員から学生が端末で自学自習し、臨床スキルの到達目標を実感できる動画を使った電子教科書を配信する。

【期待される成果と波及効果】

- ・スキルラボなど、病院での実習を補完する教育を適切に行える。
- ・実習内容の決定に積極的にかかわることによって、自学自習の態度が醸成される。
- ・教員の自身の教育に対する自己評価が適切にできる。
- ・医師の初期研修と学生の臨床実習を有機的に結合させ、臨床スキルの向上が期待できる。

